

# 福音フェスティバル



十月三日〜八日の間、障害児者支援センター「エリコ」にて、「福音フェスティバル」が開催されました。新型コロナウイルス感染症の流行で中止となっていた法人の各お祭りの代替として、初めて企画されたイベントです。企画は若手職員で構成されるみらい推進会議が行い、法人内事業所の協力のもと開催しました。会期中、はまぎく荘の皆さんも参加してきました。ハロウィンがテーマの展示物は、各事業所とも小ささまざま力作ぞろいで、個性あふれる仕上がりになっていました。利用者の皆さんも、自身の写真を見つけたり、会場で知っている利用者や職員と再会し喜ぶ一場面もありました。コロナ禍以前のお祭りのような規模ではありませんが、皆さんが楽しんでいる姿は印象的でした。来年も開催される予定です。

# はまぎく

第125号  
発行

〒970-8003  
いわき市平下平窪字熊ヶ平6番地  
TEL (0246) 23-5311  
FAX (0246) 23-5312  
はまぎく荘新聞編集委員会  
HP <http://hamagiku.i-fukuin.com>  
E-mail: [kuma-house@mx5.et.tiki.ne.jp](mailto:kuma-house@mx5.et.tiki.ne.jp)

### ●紙面紹介●

- 1面 福音フェスティバル  
忘年会
- 2面・3面 グループ旅行  
(女子②、男子①・②・③)  
研修報告
- 4面 クリスマス会  
北関東空調ケーキ授与  
クレハ労働組合  
愛のカンパ贈呈式  
編集後記

## 忘年会

十二月八日、パレスいわきにて恒例の忘年会を開催しました。所長と自治会会長の間、瀬智志さんのあいさつの後、副会長の吉田茂さんに乾杯の音頭を取っていただき皆で大きな声で乾杯をしました。一年間を振り返るスライドショーでは、普段の日中活動の様子や八月に行われた夏祭りや遠足でフラワーセンターに行った様子などが映し出され、自分や職員が映ると「映っ

てる」「かっこいい」と楽しい声がかっこよくなりました。普段とはちよつと違うコース料理を楽しむことができました。カラオケタイムではサンガラスやひらひらのスカート、光る腕輪、職員手作りの推しうちわを振りながら大盛り上がりでした。

新型コロナウイルスも5類にはなりましたが、カラオケで使うマイクの消毒や歌う人とは二メートル離れる、食事のテーブルにはアクリルボードをつけるなど、感染対策を講じながら行い、利用者さんも楽しめたと思います。



# グルーブ旅行

## —女子②班—

さる十月二十四日、女子②班の日帰り旅行、四ツ倉方面へ『爆買い★爆食ツアー』に行ってきました。まずは爆買いツアーです。ダイソーにてぬいぐるみやお菓子、文房具や美容グッズ、大量のビーズやぬりえなど、欲しいものをカゴの中にポンッ!! すごく楽



しそうでした。次は『くさの根』でお昼ご飯です。全部おいしそうで食べたいものが全然決まりません。食券機の前で「あれがいいかな」「やっぱりこれかな」と大盛り上がりです。お刺身定食や海老天井、なめろう丼に海鮮丼、それぞれ好きなものを注文しました。さらには単品で唐揚げもプラスしちゃって、まさに爆食でした。普段とは違うお食事やお買い物、とっても楽しい一日でした。

# グルーブ旅行

## —男子①班—



「美味しい物が食べたい」「寒い所はちよつと…」という六名の男子利用者さんは、いわき市が誇る常夏の「スパリゾートハワイアンズ」に行くことにしました。御家族と自分へのお土産をじっくりと選び、少し早めの昼食。年に一度の旅行、せっかくなので天ぷら盛り合わせ・お寿司盛り合わせ・ざる蕎麦とデザートまでついてくる贅沢三昧セットを注文。かなりのボリュームでしたが、皆さんベロリと平らげていました。館内を散策しながら移動し、ス

テージ脇の絶好の場所を確保し、一番の目玉であるフラインジショーが始まりました。リズムに合わせて指先を躍らす方、全身で踊る方、直前に購入したアイスに夢中な方、とにかく皆さんの笑顔が印象的でした。いわゆるコロナ禍で実施出来ていなかったグルーブ旅行ですが、これなら出来る」という創意工夫があれば行えることが分かったのが、来年度も何処に行こうか既に楽しみです。



# グルーブ旅行

## —男子②班—



十一月十日に男子②班のグルーブ旅行がありました。新型コロナウイルスが流行してから旅行等は中止となり行うことはできていませんでしたが、五類になり「日帰り旅行」を行うことが出来ました。男子②班は市内で行われていた「動物エサやりふれあいイベント」に行ってきました。主に「リス・ウサギ・フクロウ・カメ・犬・アナコンダ」等の小さい動物から大きな種類の動物と触れ合う事ができ、アナコンダの首巻き体験をしました。「さようなら」と話せ



る「インコ」がいて喋る様子に利用者さんは興味深々でした。

昼食は「ら・ら・ミュウ」のレストランで食事をしました。カジキフライ御前やマグロの海鮮丼と豪華なメニューがあり、好きな料理を注文し喫食しました。また楽しい旅行に行きたいですね。



## グループ旅行 —男子③班—

十一月二十七日、グループ旅行の男子③班を実施しました。今回の旅のテーマは「常磐ものと出会う旅」。まずはアクアマリンふくしまにて、海の生き物たちとの出会い。魚だけでなく、おまけにたぬきやキジまでいて楽しい場所です。昼食は近所のお食事処へ。各々、新鮮な刺身やジャンボエビフライに舌鼓を打ちました。これぞ常磐も

のとの出会い。満腹のお腹を抱えて最後に向かったのは、いわき・ら・ら・ミュウです。最後はお土産（お菓子）との出会いということで、皆さん思い思いにお土産を選んでいました。ご家族へのお土産も忘れず購入し、一行は帰路につきました。今回、いわきを代表する定番スポットを日帰りですりまわりましたが、実に四年ぶりの旅行です。ずっと心待ちにしていた旅行は、いかがだったでしょうか？美味しいものを食べるに、来年も色々な場所へ行ってみたいと思います。

## 研修報告

### アサーショントレーニング

サービス管理責任者・支援係長 川井 敦史

オンラインでアサーショントレーニングを受講しました。行動療法の中で開発されたカウンセリング技法ですが、現在では職場でのコミュニケーション作りなどでも活用されています。実践するには、いくつかのポイントがありますが「何を言いたいのかはつきりさせ、自分の気持ちや言葉を伝える」「相手の行動に注目し、何をどう変わって欲しいかを伝える」「言葉以外の態度や口調にも配慮する」ことを学びました。

お互いの主張や立場を大切にしたい自己表現、自己尊重のコミュニケーション力の一つであるアサーションを活用することで心理的安全性を確保した職場環境作りに努めたいと思えました。

### Eラーニング始めました

はまぎく荘では、令和五年四月から本格的にEラーニングを導入し研修を行っています。はまぎく荘で利用しているものはコンテンツが一、〇〇〇以上もあり、その中から毎月五〜十個のコンテンツを組み合わせて視聴することです。一つのコンテンツが二〜三分で、パソコンやスマートフォンからもログインできるので、隙間時間に視聴することができます。

とができます。職員全員が集まった研修を行うことは難しいですが、このような研修方法があると、皆同じ動画を視聴できるので統一見解が望めます。今年度は視聴したものをレポート提出してもらっていましたが、来年度は視聴した動画に対して小グループでディスカッションできるように進化させていきたいです。



# クリスマス会



十二月二十五日、はまぎく荘食堂にて家族の方と一緒にクリスマス会が開催されました。

自治会メンバーによるキャンドルサービスから始まり自治会会長による挨拶をもらった後に、管理棟、女子棟、男子棟職員による出し物を行いました。

管理棟によるトーンチャイムは心安らぐような綺麗な音色を奏でていました。また、女子棟では職員がカリンパを使ってクリスマスソングを演奏し女子棟利用者が素敵な歌声を披露していました。最後に男子棟では職員が利用者の方々が大好きなひげダンスを披露し、笑顔の花を咲かせていました。

午前中後半ではサンタクロースからクリスマスプレゼントをもらい、何が入っているのかとドキドキしながら

袋を開け、喜びの表情を浮かべている様子もありました。

そして、利用者の隣に座り、共にクリスマス会に参加していた保護者の方々も一緒にサンタクロースからのクリスマスプレゼントを見て、笑顔を浮かべながら共に談笑していました。

午後には北関東空調さんから頂いたケーキを食べ、「美味しい」と話す利用者の方々が多くいらっしゃいました。最後は自治会副会長の方から閉会の挨拶をもらい、クリスマス会の幕は閉じました。

久しぶりにコロナ前に行っていたような盛大なクリスマス会を開くことができ、利用者はもちろんのこと職員も保護者の方々も楽しむことが出来た一日でした。

## 北関東空調ケーキ授与

今年度も「北関東空調」よりはまぎく荘のクリスマス会に合わせ、美味しい「クリスマスケーキ」をいただきました。毎年いただいております。利用者さんの楽しみの一つです。皆で口いっぱいにはおぼた「美味しい」「もつと食べたい」と利用者さんより話があり、クリスマスを堪能できたと思います。

## クレハ労働組合 カンパ贈呈式

十二月二十五日(月)、午前十時からいわき市役所勿来支所で、クレハ労働組合様からの年末「愛のカンパ」贈呈式が行われました。

クレハ労働組合様は、昭和四十九年から心身障がい者の方々や親のない子供たちの施設等への寄附活動に取り組みされており、当事業所でも毎年クレハ労働組合様からご寄附を頂いております。今年頂いたご寄附もはまぎく荘利用者のために有効に使わせて頂きたいと思っております。クレハ労働組合員の皆様、本当にありがとうございました。

## 編集後記

新型コロナウイルスも落ち着いてきて、みんなで日帰り旅行や忘年会に外出ができてとても楽しい年度になったと思います。

年末も冬の寒さを忘れてしまっそうな程、温かく過ごせましたね。年始からは少し寒さを感じます。風邪等引かないように体調万全に過ごしていきましょう。

広報誌「はまぎく」二二五号をご覧ください。

